



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月29日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社
 コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 久田宗弘
 (氏名) 鎌田清孝

TEL 03-5764-5214

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	114,453	△0.1	5,753	△21.2	5,864	△20.8	3,501	75.7
24年2月期第1四半期	114,569	5.2	7,297	70.8	7,401	71.6	1,993	△15.4

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 3,036百万円 (77.2%) 24年2月期第1四半期 1,713百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	23.90	—
24年2月期第1四半期	13.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	313,316	141,922	45.3	976.77
24年2月期	303,950	141,424	46.5	960.46

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 141,922百万円 24年2月期 141,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	7.50	—	9.00	16.50
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	229,400	△0.7	13,000	△9.2	12,900	△9.4	6,900	26.8	46.86
通期	442,800	0.2	20,000	1.2	19,600	0.0	10,500	29.3	71.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	149,588,723 株	24年2月期	149,588,723 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	4,291,141 株	24年2月期	2,341,255 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	146,505,328 株	24年2月期1Q	146,893,727 株

(注)自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
商品別売上情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や復活したエコカー補助金制度などの政策効果もあり、国内景気には緩やかな回復の兆しが見られました。しかしながら、欧州の債務問題の長期化による世界経済の減速懸念や、依然として続く過度な円高、電気料金の値上げ問題など、国内景気の先行きには予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については5店舗、退店については1店舗を実施いたしました。これにより当連結会計期間末日現在の店舗数は510店舗（カーマ132店舗、ダイキ160店舗、ホームマック218店舗）となりました。なお、ホームマックにおいては、震災の影響により長期間の営業休止中でありました2店舗が4月に営業を再開しております。また、岩手県内に多くのお客様からのご要望にお応えすべく、仮設店舗方式により2店舗を新規開店しております。

販売面においては、夏場の日除け対策としての緑のカーテンや家庭菜園への需要の増加などにより、植物や園芸用品の販売が好調に推移しております。半面、昨年導入された地上デジタル放送への移行需要の減少などが発生しております。夏場における暑さ対策商品の早期の売り場展開やプライベートブランド商品「DCMブランド」の導入推進などに取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は1,144億5千3百万円（前年同期比99.9%）、営業利益は57億5千3百万円（前年同期比78.8%）、経常利益は58億6千4百万円（前年同期比79.2%）、四半期純利益は35億1百万円（前年同期比175.7%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸・エクステリア部門

園芸用品では、4月中旬までは低温などの天候不順により売上が伸び悩みましたが、中旬以降は天候の回復により野菜苗、栽培セット、支柱、用土といった家庭菜園用品が好調でした。また、節電対策の早期取り組みとして行った緑のカーテンや日除け、ヒートアイランド防止企画などの商品が好調でした。その結果、売上高は230億6千9百万円となりました。

② ホームインブルーメント部門

3月の爆弾低気圧通過などの天候不順による需要で釘・針金、波板、雨どいなど屋外作業用品が好調でした。また、昨年の震災以降の需要としての補修剤や工具、建材などが継続して好調でした。さらに、網戸関連商品などの季節商品が好調でした。その結果、売上高は191億6千9百万円となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

カー用品では、新商品の早期展開を重点的に取り組んだことで、芳香剤や洗車関連商品が好調でした。サイクル用品では、販売台数全体が減少する中において、積極的に取り組んだ「パンクしないタイプ」の自転車好調でした。ペット用品では、飼育頭数が減少傾向にあり、フード全体の売上は伸び悩みましたが、ペットの高齢化や屋内飼育の増加により、高齢犬用フードや介護用品が好調でした。その結果、売上高は169億1千2百万円となりました。

④ ハウスキーピング部門

昨年の震災需要の反動により、キッチン用品、清掃用品、浴用品などの売上が伸び悩みましたが、4月中旬以降の気温の上昇に伴い、制汗剤や日焼け止め、殺虫剤といった季節商品が好調でした。食品部門では、防災意識の高まりから、缶詰やレトルト食品が好調でした。その結果、売上高は294億7千7百万円となりました。

⑤ ホームファニシング部門

収納用品は震災需要の反動で売上が伸び悩みましたが、新規に取り組んだオフィス家具が好調でした。インテリア用品では、ラグやマットなどの新生活需要が好調でした。また、節電やエコ意識の高まりから日除けなどの季節商品が好調でした。その結果、売上高は89億3千8百万円となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

昨年の地上デジタル移行に伴う関連需要や震災需要の反動により、テレビチューナー、乾電池、懐中電灯などの売上が伸び悩みましたが、節電やエコ意識の高まりから、LED照明やLED電球が好調でした。また、今期取り組みを行ったマッサージ関連商品や携帯電話関連商品が好調でした。その結果、売上高は101億9千1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、新規5店舗の出店などにより有形固定資産が増加したことや、季節的要因により商品在庫および売掛金が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して93億6千6百万円増加し、3,133億1千6百万円となりました。

負債残高は、法人税等の支払いにより未払法人税等が減少したことや季節的要因により買掛金が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して88億6千8百万円増加し、1,713億9千3百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや自己株式の取得、四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して4億9千8百万円増加し、1,419億2千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月10日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,470	13,542
受取手形及び売掛金	3,255	5,321
リース投資資産	589	2,546
商品	72,602	79,476
繰延税金資産	2,620	1,391
その他	5,575	5,948
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	100,105	108,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	146,617	147,805
減価償却累計額	△86,456	△86,753
建物及び構築物（純額）	60,160	61,052
土地	67,570	68,879
リース資産	4,076	4,076
減価償却累計額	△347	△401
リース資産（純額）	3,728	3,675
建設仮勘定	708	472
その他	20,357	21,153
減価償却累計額	△14,542	△15,082
その他（純額）	5,815	6,071
有形固定資産合計	137,983	140,150
無形固定資産		
借地権	5,807	5,825
ソフトウェア	4,748	4,924
その他	196	197
無形固定資産合計	10,752	10,946
投資その他の資産		
投資有価証券	7,514	6,837
敷金及び保証金	42,184	41,904
繰延税金資産	1,343	1,310
長期前払費用	2,699	2,619
その他	1,434	1,393
貸倒引当金	△66	△66
投資その他の資産合計	55,108	53,999
固定資産合計	203,844	205,096
資産合計	303,950	313,316

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,774	58,115
短期借入金	27,300	33,300
1年内返済予定の長期借入金	20,715	20,191
リース債務	77	78
未払法人税等	4,419	887
繰延税金負債	10	2
賞与引当金	4,026	2,384
ポイント引当金	410	415
その他	11,016	12,379
流動負債合計	113,748	127,755
固定負債		
長期借入金	33,950	29,102
リース債務	4,110	4,090
繰延税金負債	411	343
再評価に係る繰延税金負債	219	219
退職給付引当金	454	447
役員退職慰労引当金	23	15
資産除去債務	1,192	1,206
長期預り金	5,657	5,589
負ののれん	63	61
その他	2,694	2,561
固定負債合計	48,776	43,638
負債合計	162,525	171,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	91,920	94,096
自己株式	△956	△2,169
株主資本合計	142,566	143,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	750	308
繰延ヘッジ損益	14	△8
土地再評価差額金	△1,906	△1,906
その他の包括利益累計額合計	△1,141	△1,606
純資産合計	141,424	141,922
負債純資産合計	303,950	313,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	113,407	113,119
売上原価	78,333	79,411
売上総利益	35,073	33,708
営業収入		
不動産賃貸収入	1,162	1,334
営業総利益	36,235	35,042
販売費及び一般管理費	28,938	29,289
営業利益	7,297	5,753
営業外収益		
受取利息	67	68
受取配当金	129	159
その他	177	185
営業外収益合計	374	413
営業外費用		
支払利息	258	272
その他	11	30
営業外費用合計	270	302
経常利益	7,401	5,864
特別損失		
固定資産除売却損	20	65
減損損失	13	24
災害による損失	2,891	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	697	—
その他	145	3
特別損失合計	3,769	93
税金等調整前四半期純利益	3,632	5,771
法人税、住民税及び事業税	1,163	833
法人税等調整額	475	1,436
法人税等合計	1,639	2,269
少数株主損益調整前四半期純利益	1,993	3,501
四半期純利益	1,993	3,501

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,993	3,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△277	△441
繰延ヘッジ損益	△1	△23
その他の包括利益合計	△279	△465
四半期包括利益	1,713	3,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,713	3,036
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	33,737	29,987	50,795	49	114,569	—	114,569
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	6,381	6,383	△6,383	—
計	33,737	29,988	50,796	6,431	120,953	△6,383	114,569
セグメント利益	2,198	1,405	3,610	1,201	8,415	△1,118	7,297

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△1,118百万円には、セグメント間取引消去△1,154百万円、その他36百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	33,771	29,478	51,148	55	114,453	—	114,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	11,162	11,164	△11,164	—
計	33,771	29,479	51,149	11,218	125,618	△11,164	114,453
セグメント利益	1,485	1,084	3,019	1,874	7,463	△1,710	5,753

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△1,710百万円には、セグメント間取引消去△1,720百万円、その他10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、平成24年4月10日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、自己株式が1,232百万円増加しております。

4. 補足情報
商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	21,393	18.9	23,069	20.4	64,240	14.7
ホームインプルーブメント	18,841	16.6	19,169	16.9	74,265	17.1
ホームレジャー・ペット	17,499	15.4	16,912	15.0	65,779	15.0
ハウスキーピング	29,799	26.3	29,477	26.1	122,376	28.0
ホームファニッシング	8,902	7.8	8,938	7.9	35,389	8.1
ホームエレクトロニクス	12,773	11.3	10,191	9.0	55,710	12.7
その他	4,197	3.7	5,360	4.7	19,375	4.4
合計	113,407	100.0	113,119	100.0	437,138	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、住宅設備、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他